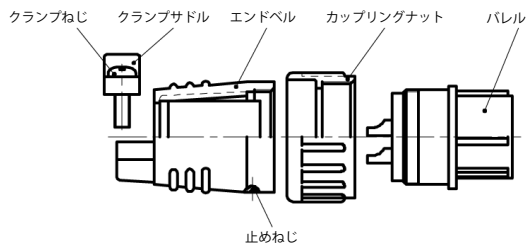


# 結線作業方法【はんだ】NET

※ 結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。

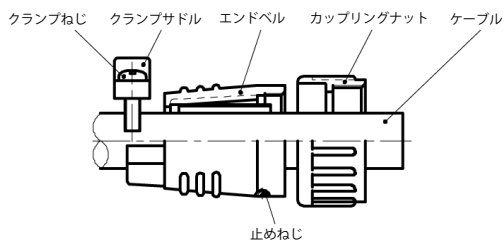
## 1. 構成図の通りコネクタを分解する。

※ 六角レンチのサイズは以下の通りです。  
NET-20・24・28・32 → 1.5mm



## 2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



## 3. 使用ケーブルのシース及び電線を別紙指定寸法で剥く。

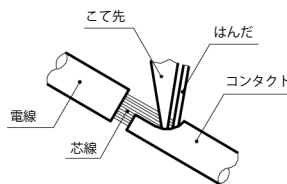
## 4. 線剥きを施した電線の芯線に予備はんだを施す。

注) ※ 予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。  
仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと。  
※ 予備はんだを施したケーブル導体の仕上がり状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

## 5. はんだづけを行う。

注) ※ コンタクトへの過度の加熱はしないこと。  
使用はんだごては下の表を参照。  
※ アースコンタクト (⊕マークのある端子) はボディーと導通しているので、アース以外の電線は接続しないこと。

- ① コンタクトのソルダーポットに芯線を差し込む。
- ② 図の様にはんだごてで加熱しながらはんだを流し込み、コンタクトと芯線の隙間を埋める。



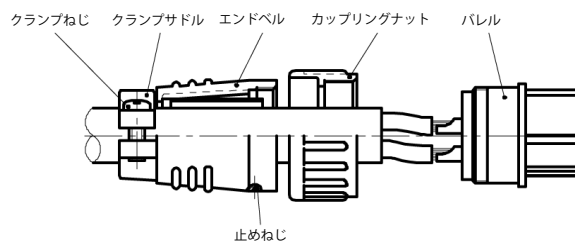
使用はんだごて	電線導体断面積 (mm <sup>2</sup> )	こて先温度 (°C)
30 W	2	350 ~ 370
60 W	3.5, 5.5, 6	370 ~ 400

こて先温度は共晶はんだでの参考値

## 6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

注) 断線するおそれがあるのでバレルを回転させて締め付けないこと。  
締め付けのトルク値は下の表を参照。

- ① バレルを固定し、カップリングナットを装着した上でエンドベルを締め付ける。
- ② 止めねじを締め付ける。
- ③ クランプねじを締め付けてクランプサドルを固定する。

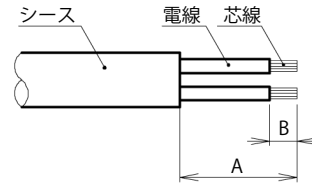


[単位: N・m]

締め付け箇所	シェルサイズ			
	20	24	28	32
バレル-エンドベル	1.0 ~ 1.5	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	1.5 ~ 2.0
クランプねじ	0.4 ~ 0.6	0.4 ~ 0.6	0.4 ~ 0.6	0.6 ~ 0.8
止めねじ	0.2 ~ 0.25	0.2 ~ 0.25	0.2 ~ 0.3	0.3 ~ 0.4

# 結線作業方法【はんだ】NJC・NR・NET 線剥き寸法

該当するサイズ、コンタクト数、形状で照合のこと。



はんだタイプ NJC・NR・NET 線剥き寸法					
サイズ・コンタクト数 ・形状	端子番号	A (mm)	B (mm)	電線導体断面積 (mm <sup>2</sup> )	
163	全極	16	5.2	1.25	
165			3.2	0.5	
168				0.3	
202		18	7	2	
203					
204		18	5.2	1.25	
205					
207		18	3.2	0.5	
2010				0.3	
2012		20	8	3.5	
2014					
242		21	7	2	
243					
244		21	5.2	1.25	
245					
2410		21	3.2	0.5	
2414				0.3	
2416		1 ~ 18			0.3
2421		19, 20, 21		5.2	0.75
2424		全極		3.2	0.3
284	20		8	3.5	
288	全極	21	7	2	
2816		22	5.2	1.25	
2824			3.2	0.5	
2831	1 ~ 28	22		0.3	
2837	29, 30, 31		5.2	0.75	
323	全極		3.2	0.3	
324		35		5.5, 6	
328					
3210		35	7		
3212				2	

※  
※

※は、NETのみ